

第3学年 国語科学習指導案

平成30年11月13日(火) 5校時
名護市立名護中学校 3年1組41名
授業者 松川 亜沙子

【年間指導計画の位置付け 3学年 11月計画】

1 単元名・教材名

単元名 新聞を比較して読み、自分の考えをまとめよう。

教材名 情報社会を生きる ―メディア・リテラシー

菅谷 明子 (三省堂)

2 単元の目標

- (1) 見出しや構成・写真などに注目して新聞を比較しながら読み、自分の考えをまとめようとしている。
【国語への関心・意欲・態度】
- (2) 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価している。
【読むこと ウ】
- (3) 文章を読んで、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つこと。【読むこと エ】
- (4) 新聞に盛り込まれた情報を読む際に、和語・漢語・外来語などを使い分けに注意している。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(1)】

3 言語活動とその特徴

本単元の言語活動として、読むこと(イ)「論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと」をもとに、「新聞を比較して読み、自分の考えをまとめよう。」という活動を位置づけた。

報道文は、書き手の意図により情報が切り取られて発信されているということを前提として読み進めていかなければならない。同じテーマを扱っていても、書き手が変われば内容も異なることを知り、多角的に物事を捉えなければその本質を見極めることができないと考える。そこで本単元では、比較読みを通して、本校生徒が苦手としている「目的に応じて読む」「複数の情報を読みとり、自分の考えを書く」指導を充実させ、記事の内容の裏に隠された書き手のものの見方や考え方に迫っていきたい。(モデル参照)

4 単元について

(1) 教材観

本教材で筆者は、「メディアが伝える情報は、現実が再構成された恣意的なものである。」と指摘し、「情報社会を生きる私たちは、メディアがもたらす利点と限界を把握するためのメディア・リテラシーを身につけ、私たち自身で情報社会を作る必要がある。」と述べている。また、メディアの受け手としてだけでなく、誰もが気軽に情報を発信できる時代になった今、送り手としての立場も考えていかなければならない。

そこで本教材を通して、メディアの特性をふまえどのように情報と向き合えばよいかを考える機会を設けた。そして第三時から新聞二紙を活用し、伝えられた情報がどのような視点から切り取られたものなのかを分析していく。同じテーマを扱っていても、情報の発信者の意図によって受け止め方に違いがあるということを理解させ、様々な観点から批判的に読み取らせていきたい。

(2) 生徒観

本学年の生徒は、平成29年度の沖縄県到達度調査において、第一学年読むことエ「文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えを持つ」、書くことウ「伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書く」に関する問題に落ち込みが見られた。また、今年度4月に実施した全国学力・学習状況調査においては、B問題第一学年読むことイ「文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりするこ

と」、第二学年書くことウ「事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと」の正答率が全設問中最も低かった。

このことから目的に応じて複数の資料から情報を読みとり、自分にとって適切な情報を選んだり見極めたりすることやその過程を通して自分の考えを明確にすることを苦手としていることが明らかとなった。その課題克服に向けて指導事項（ウ）（エ）を設定し、文章の構成や書き手の表現の工夫について評価したり、文章に表れているものの見方や考え方と比べたりしながら自分の考えを深めさせていきたい。

（3）指導観

今年度、「間の文化」「フロン規制の物語 - 〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで」を通して、論理の展開の仕方に注意して筆者の主張を読みとる授業を行ってきた。「間の文化」では、対比の手法を用いて日本文化を紹介するリーフレットを作る言語活動を行い、「フロン規制の物語」では、発展教材を読み科学技術の発達に対する自分の考えをまとめた。どちらも、複数の資料を活用して取り組ませたが、目的に応じた文章の読み取りや必要な情報を得て自分の考えを広げることが不十分だった。また、情報の収集や読みとりの仕方、書き手と自分のものの見方・考え方を対比したり関連づけさせたりする点においても指導に課題が残った。

平成29年7月に告示された学習指導要領には、「情報の扱い方に関する事項」が新設された。今回の授業では、平成29年度版学習指導要領の知識及び技能（2）情報の扱い方に関する事項（ア）「具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。」を踏まえ、読むこと（エ）「文章を読んで、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。」の指導の充実を図りたいと考える。

中学3年で求められている「情報を吟味・検討・評価」する力を育てることである。そのためには系統的にメディア・リテラシーの力を育成することが必要となる。しかし、生徒の実態として、家庭で新聞を購読していない家庭がほとんどであり、新聞が身近なものとなっていない状況を踏まえ、今回の指導では、新聞の比較読みの仕方を理解させ、そして書き手が、読み手の共感を得るための工夫を捉えさせながら、その裏に隠された書き手のものの見方や考え方に迫りたいと考える。

そこで、本単元では、沖縄県の中学生が社会に目を向けやすいテーマとして、身近な「慰霊の日」の記事を比較読みさせる。まずは報道文の特徴を押さえ、情報の発信者が読み手の共感を得るためにどのような意図で文章構成や論理の展開、表現の工夫を行っているかを考えさせたい。そして、記事の内容や言葉に着目し、関連する知識や経験を想起しながら自分の考えを深められるように指導を行いたい。

（4）評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
①見出しや構成・写真などに注目して新聞を比較しながら読み、自分の考えをまとめようとしている。	①新聞記事の情報について、文章の構成や展開、表現の仕方などの特徴や効果をまとめ、評価している。 (ウ) ②二つの新聞記事を比較し、述べられている内容について、立場を明らかにして自分の考えをもっている。 (エ)	①新聞に盛り込まれた情報を読む際に、和語・漢語・外来語などを使い分けに注意している。 (イ(1))

(5) 指導と評価の計画 (6時間)

	時間	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
第一次 【教科書教材】	1	<p>本文を音読し、構成や内容を捉えよう。</p> <p>①学習目標を確認し、学習の流れをつかむ。</p> <p>②論の展開を捉える。</p> <p>③本文を音読し、初読の感想を書く。</p> <p>④振り返り</p>	<p>・身近な情報媒体や情報の信頼性（フェイクニュース）について考えさせる。</p> <p>・接続詞や具体例に注目させ、序論・本論・結論に分けさせる。</p> <p>・グループで本文を音読させ、初読の感想を書かせる。</p>	<p>【国語への関心・意欲・態度】</p> <p>【読むこと (ウ)】</p>
	2	<p>なぜメディア・リテラシーが必要なのだろう。</p> <p>①筆者の話題提示を読みとり、要旨を押さえる。</p> <p>②筆者の考える「メディア・リテラシー」についてまとめる。</p> <p>③なぜメディア・リテラシーが必要なのかを考える。</p> <p>④まとめ・振り返り</p>	<p>・結論部から筆者の主張を捉えさせる。</p> <p>・「と同時に」「言い換えれば」などという言葉に着目できるようにする。</p> <p>・いくつかの段落にその答えとなる表現や言葉があることを伝える。</p>	<p>【読むこと (ウ)】</p>
	3	<p>どのように新聞の比較読みをすればよいのだろう。</p> <p>①本文を読み、ニュース報道の特徴を抑える。</p> <p>②新聞Aを使って読み比べの仕方を説明する。</p> <p>③新聞Bを使って記事の内容を読み取る。</p> <p>④振り返り</p>	<p>・どのような視点で読むと良いかを考えさせる。</p> <p>・教師がモデリングを行い、記事の読み取り方を説明する。</p> <p>・新聞Aを参考に、読みとり方を捉えさせる。</p>	<p>〈ワークシート〉</p> <p>※「新学習指導要領 知識及び技能(2)(ア)」を踏まえて、指導する。</p> <p>【国語への関心・意欲・態度】</p>

第二 次	4 ・ 5	どのような視点から「慰霊の日」を伝えているだろう。		〈ワークシート〉
		<p>①読み手の共感を得るために工夫されているところを探す。</p> <p>②二つの記事を比較したことをもとに、自分の考えをまとめる。</p> <p>③考えをまとめる際に、どのような内容や言葉に着目したのかを記入させる。</p>	<p>・「見出し」「取り上げている事実」「写真」「構成や文体」などに着目させる。</p> <p>・①をもとに自分の考えをまとめ、二紙の特徴を捉えさせる。</p> <p>・自分の考えをまとめる際、記事の内容や言葉に根拠を得ているかをはっきりさせ、交流の際の視点を明確にする。</p>	<p>【読むこと (ウ)】 ※「新学習指導要領 知識及び技能 (2) (ア)」を踏まえて、指導する。</p> <p>【読むこと (エ)】</p>
	6 本 時	グループ交流を通して、自分の考えを広げよう。		〈ワークシート〉
		<p>①グループで交流する。</p> <p>②評価した内容をまとめ、メディア・リテラシーに対する自分の考えを持つ。</p> <p>③単元のまとめ・振り返り</p>	<p>・他者との比較を通して、気づかなかった点や読みとりが十分でなかった点がないかを確認させる。</p> <p>・メディア・リテラシーを身につけ、複数の情報を比較することで実生活においてどのように役立つかを考えさせる。</p>	<p>【読むこと (エ)】</p> <p>【国語への関心・意欲・態度】</p>

5 本時の指導目標・展開

(1) 目標 「グループ交流を通して、自分の考えを広げよう。」

(2) 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
導 入 5 分	前時の振り返りをし、本時の目標を確認する。		
	「グループ交流を通して、自分の考えを広げよう。」		
展 開 ① 25 分	①3人グループで交流する。	<p>・交流のポイントを確認する。</p> <p>○二つの記事を比較して書いているか。</p> <p>○読み手の共感を得るための工夫について書かれているか。</p> <p>○理解したこと・分かったことと結びつけて自分の考えを書いて</p>	<p>ワークシート</p> <p>【読むこと (エ)】</p>

		いるか。 ・グループの人との比較を通して、気づかなかった点や読みとりが十分でなかった点がないかを確認させる。	
展開 ② 10分	②交流を通して、自分の考えを再構築する。	・グループの人の考えを取り入れ、自分の文章に加筆修正を加える。	【国語への関心・意欲・態度】
まとめ 10分	③単元のまとめ・振り返り・メディア・リテラシーに対する自分の考えを持つ。	・メディア・リテラシーを身につけ、複数の情報を比較することで実生活においてどのように役立つかを考えさせる。	

(3) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">振り返り</div> <p>○理解したこと・分かったことと結びつけて自分の考えを書いているか。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">交流のポイント</div> <p>○二つの記事を比較して書いているか。 ○読み手の共感を得るための工夫について書かれているか。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 慰霊の日の記事 ○沖縄タイムス ○朝日新聞 </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-bottom: 5px;"> <div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-bottom: 5px;"> <div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"> <div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 100%;"></div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 富士山の記事 教科書 p138 ~ p139 </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-bottom: 5px;"> <div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-bottom: 5px;"> <div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"> <div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 100%;"></div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 本時の目標 グループ交流を通して、自分の考えを広げよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 〈モデル〉 </div>	霜月十三日(火) 情報社会を生きる
--	--	---	--	--	----------------------

6 評価の実際

(1) 具体的な評価【モデル文-教科書教材】

本単元では、「新聞を比較して読み、自分の考えをまとめよう。」という言語活動を行う。新聞2社の記事を比較を通して、記事の構成や展開、表現を評価し、そこに隠された書き手のものの見方や考え方を捉えて、自分のものの見方や考えを広げていく。その際、何に注目して、どのように考えて判断した結果、自分の考えに至ったかを明らかにしていく。

新聞を活用して得た情報を比較しただけの捉えは、「情報を必要に応じて活用する」第2学年読むことウの指導事項であることから、単に新聞からの情報の抜き出しとならないよう、自分の考えに至った着目した内容や表現を交流させていく。そして教材文での学びやこれまでの体験と結びつけて自分の考えを広げているかを評価していく。

読む能力①、②の評価については、下記のモデル文では、次のような記述によって評価した。

【情報の精査・解釈】

それぞれの新聞の文章の構成や展開，表現を捉えて読み比べている。(ワークシートの1の課題も評価対象)

ウ 文章を読み比べるなどして，構成や展開，表現の仕方について評価している。

読むこと①

<2つの記事の比較>

新聞Aは，世界遺産に登録され，世界から認められた富士の誇らしさを伝える構成になっている。例えば，ご来光に向かってバンザイをする人々の写真を載せたり，「拍手」「歓声」「うれしげ」など，登山客が山開きを喜んでいる様子から読み取れる。

一方，B新聞は懸念される課題にスポットを当て，記事にしている。山岳遭難救助隊長の話を中心に，関係者目線で忙しさを強調することで，読者の注意喚起することができる。

【評価】

書き手の
ものの見方を捉えている。

エ 文章を読んで，人間，社会，自然などについて考え，自分の意見を持つこと。

読むこと②

<書き出し>

【教科書教材からの学びを踏まえて】

教材文や「新聞」という情報の精査・解釈を通して，裏に隠された書き手のものの見方や考え方を捉えている

同じテーマを扱った記事でも，制作者の伝えたいことによって大きく内容が変わっている。

<結論>

これまでの学びと結びつけて，自分の考えや意見をまとめている場合はAと評価判断する。

以前，ゴミの不法投棄が原因で，富士山の世界遺産登録が遅れたというニュースや，登山家の野口さんがゴミ拾いをしている話を聞いたことがある。

世界遺産登録後初の山開きはとても明るいニュースだが，その裏には課題と向き合い努力している人の姿があることも忘れてはならない。

【自分の考えをまとめる】

教材文や「新聞」という情報の精査・解釈を通して，裏に隠された書き手のものの見方や考え方を踏まえて，(これまでの学びと結びつけながら，) 自分の考えまとめている。

新聞記事の内容を捉え，自分の考えをまとめている場合は，
Bと評価

【Cの子への手立て】

A新聞とB新聞の違いを見つけさせ，そのことに対して，自分の考えをまとめるよう支援を行う。

(2) 評価事例【実施した学級の生徒の文章】

読むこと①	<p>ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><2つの記事の比較> 【情報の精査・解釈】 それぞれの新聞の文章の構成や展開、表現を捉えて読み比べている。(ワークシートの1の課題も評価対象)</p> </div> <p>新聞Aは、戦後73年たった今でも、戦争はやってはいけない、という遺族や関係者の思いを伝えるとともに、<u>一歩間違えれば戦争を再び導いてしまう基地建設を強く反対していることが読み取れる。</u>また、<u>安部首相の協力的なコメントを多く取り上げていた。</u>そこから、<u>平和に対する強い意志が読み取れた。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">書き手のものの見方を捉えている</div> <p>一方、B新聞は、<u>沖縄の過去の過ちについて多く取り上げていた。</u>それに、<u>米軍普天間飛行場の移設計画が進む中迎えられた慰霊の日</u>は、<u>こうした状況で迎えられたという部分から、沖縄の平和への道が逆方向に進んでいるのではないかと</u>というような捉え方をしていると読み取ることができるのではないかと。</p>
読むこと②	<p>エ 文章を読んで、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つこと。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><書き出し> 【教科書教材からの学びを踏まえて】 教材文や「新聞」という情報の精査・解釈を通して、裏隠された書き手のものの見方や考え方を捉えている</p> </div> <p>同じ沖縄戦の記事でも、製作過程における情報の取捨選択や編集によって、もののとらえ方がちがった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2つの記事の比較を踏まえ、 <u>以前に見聞したこと ⇒ 現在沖縄が抱えている状況に対する自分の考え ⇒ 2つのことを受けた意見</u> という順で自分の意見を述べている。</p> </div> <p><結論> <u>ニュースで以前報道された少年らによって無残に荒らされている読谷にあるチビチリガマは、私にとってとても大きな衝撃だった。</u><u>そんな中、沖縄県民の声を無視しているかのように進む、基地建設は、沖縄の未来をどのように変え、私たちにどんな影響があるのか想像がつかないほどのおそろしさである。</u><u>だからこそ、私たち若者は、戦争について深く知り、現在と向き合っていかなければならないと私は思う。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>これまでの学びと結びつけて、自分の考えや意見をまとめている場合はAと評価判断。</p> </div>

上記の生徒は、新聞Aの見出しから「戦後73年」という言葉に着目し、そこから「・・・たった今でも、戦争はやってはいけない」という遺族や関係者の平和への思いや基地建設反対への思いを読み取っている。またB新聞からは、ガマの写真に着目し、「沖縄の過去」を多く取り上げていることを踏まえ、沖縄の現状を中心に捉えている。またその読み比べから、書き手の意図を踏まえて、自分の考えをまとめるところでは、チビチリガマの破壊の事件をとりあげながら、現在沖縄が抱えている状況に対する自分の考えと、2つの記事を受けて自分の意見をまとめており、「十分満足できる」状況(A)と判断した。